

事務事業評価シート

事務事業コード	006700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	食育基本法 健康増進法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	食育推進事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	増加する生活習慣病を予防するために、最も重要である食生活の改善を広く普及するため、食育推進員を養成し、伝達講習会を通して市民の健康づくりにつなげる。
手段 (どうするのか)	食育推進員の養成および育成と食育推進員による地区伝達講習会を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	
年度別実績	食育推進員養成講座の実施 1会場2クール 地域における伝達講習会の実施 321回	食育推進員養成講座の実施 3会場 地域における伝達講習会の実施 335回	食育推進員養成講座の実施 1会場2クール 地域における伝達講習会の実施 328回	食育推進員養成講座の実施 2会場 地域における伝達講習会の実施 341回	食育推進員養成講座の実施 中止 地域における伝達講習会の実施 中止			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		11,422	12,241	5,741	5,533	5,521	
	直接経費 A		3,481	3,458	3,568	3,376	3,400	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	72	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		3,481	3,458	3,496	3,376	3,400		
人件費 B		7,941	8,783	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員		1.10	1.20	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	伝達講習会開催数	回	目標	400
			実績	321	335	328	341	0
	(指標の説明) 食育推進員が各地区で実施をした伝達講習会の回数							
2	食育推進員養成講座受講者数	人	目標	40	40	40	40	40
			実績	25	37	24	23	0
	(指標の説明) 食育推進員養成講座の受講人数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】食育推進係 0857-30-8582</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P80(健021)</p> <p>【事業の概要】 地域における食生活の改善を積極的に推進していくことを目的に、増加する生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及し、健康づくりの推進につなげる。 1 食育推進員養成講座の実施 2 食育推進員における地区組織活動を育成し、増加する生活習慣病予防のために地域の食生活改善を普及するための地区伝達講習会の実施 (委託先)鳥取市食育推進員会</p> <p>【事業の成果】 新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、食育推進員養成講座および地区伝達講習会の開催を中止したが、今後の会員増加や地区普及活動のために、PR紙や生活習慣病予防のためのレシピ集の作成および配布をおこなった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>食育推進員 養成講座</th> <th>講座 修了者数</th> <th>地区伝達 講習会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,568,223円</td> <td>8回シリーズ(1会場×2グループ)</td> <td>23人</td> <td>328回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,376,548円</td> <td>8回シリーズ(2会場×1グループ)</td> <td>23人</td> <td>341回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3,399,589円</td> <td>中止</td> <td>0人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取り組み】 食育推進員の養成と食育推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組んでいく。</p>		決算額	食育推進員 養成講座	講座 修了者数	地区伝達 講習会	平成30年度	3,568,223円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	23人	328回	令和元年度	3,376,548円	8回シリーズ(2会場×1グループ)	23人	341回	令和2年度	3,399,589円	中止	0人	中止
		決算額	食育推進員 養成講座	講座 修了者数	地区伝達 講習会																
平成30年度	3,568,223円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	23人	328回																	
令和元年度	3,376,548円	8回シリーズ(2会場×1グループ)	23人	341回																	
令和2年度	3,399,589円	中止	0人	中止																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	伝達講習会開催数	80%	84%	82%	85%	
	2	食育推進員養成講座受講者数	63%	93%	60%	58%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したことから、計画どおり実施することができなかった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた事業は実施できなかったが、今後の会員増加に向けたPR紙の作成、配布や生活習慣病予防のためのレシピ集の作成および配布、メディアを活用した啓発等により、できる限り食育の推進に努めた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした食育推進員養成講座について、開催に向け方法や内容について検討し、会員の増加につなげるとともに、今後も引き続き食育推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組み、生涯を通じた健康増進につなげる。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	006800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	成人栄養改善事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	健康増進法 食育基本法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	成人栄養改善事業費	予算事業コード	01-04-01-02-07-02		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民(成人)
意図 (どのような状態 にするために)	市民の健康づくりおよび生活習慣病の重症化予防を重点にした栄養改善事業の実施により、健康的な食習慣の定着を推進し、健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするか)	健康的な食習慣を身につけるための栄養改善事業を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		糖尿病食生活教室 糖尿病食生活教室フ オロー教室 適塩講座	糖尿病食生活教室 糖尿病食生活教室フ オロー教室 適塩講座	糖尿病食生活教室 糖尿病食生活教室フ オロー教室 適塩講座	糖尿病食生活教室 糖尿病食生活教室フ オロー教室 適塩講座	糖尿病食生活教室 糖尿病食生活教室フ オロー教室 適塩講座
年度別実績	糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 2回	糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 2回	糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 2回	糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 2回	糖尿病食生活教室 2回シリーズ×1 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 2回	糖尿病食生活教室 3回 糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 適塩講座 1回
	事業費	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
区分	事業費(A+B)	19,990	22,463	2,607	2,597	2,530
直接経費 A	499	506	434	440	409	
直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	499	506	434	440	409
人件費 B	19,491	21,957	2,173	2,157	2,121	
職員数の 内訳	正規職員	2.70	3.00	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	糖尿病食生活教室参加者増	人	目標	40
			実績	36	34	21	16	34
	(指標の説明) 糖尿病食生活教室の参加者の人数。基準値は講座の定員。							
2	適塩講座参加者満足度	%	目標	90	90	90	90	90
			実績	86	100	90	96	100
	(指標の説明) 適塩講座参加後アンケートで「参考になった」と回答した割合。基準値はH28年度を参考。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】食育推進係 0857-30-8582</p> <p>【10次総の施策体系】0201</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 生活習慣病(がん、糖尿病など)の増加に伴い、平成18年度から糖尿病食生活教室、平成22年度から減塩教室(適塩教室)を開催、平成27年度は過去の糖尿病食生活教室受講者への継続支援の為にフォロー教室を開催。</p> <p>【事業の成果】 糖尿病、高血圧をはじめとする生活習慣病が大きく関わる疾病の発症予防、重症化予防に対し、イベント形式で実施するなど、様々な伝達方法で地域住民の健康づくりを推進することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>糖尿病食生活教室</th> <th>糖尿病食生活 フォロー教室</th> <th>適塩教室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>434,016円</td> <td>2回シリーズを2クール</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>440,091円</td> <td>2回シリーズを1クール</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>409,222円</td> <td>1回シリーズを3クール</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取り組み】 生活習慣病の発症予防および重症化予防につなげるため、継続実施する。</p>		決算額	糖尿病食生活教室	糖尿病食生活 フォロー教室	適塩教室	平成30年度	434,016円	2回シリーズを2クール	1回	2回	令和元年度	440,091円	2回シリーズを1クール	1回	2回	令和2年度	409,222円	1回シリーズを3クール	1回	1回
		決算額	糖尿病食生活教室	糖尿病食生活 フォロー教室	適塩教室																
平成30年度	434,016円	2回シリーズを2クール	1回	2回																	
令和元年度	440,091円	2回シリーズを1クール	1回	2回																	
令和2年度	409,222円	1回シリーズを3クール	1回	1回																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 糖尿病食生活教室参加者増	90%	85%	53%	40%	76%
	2 適塩講座参加者満足度	96%	111%	100%	107%	111%
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた事業の内容を変更するなど計画通りの実施ができなかった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限や内容変更をする中、回数を増やすことで少しでも食習慣の意識変容、行動変容につながるようできる限りの対応で実施につなげた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で教室開催について検討したことで、糖尿病食生活教室の開催時間、内容、回数、周知方法について変更したことで、昨年度に比べ参加人数増につながった。今後も引き続き、栄養改善事業を通じた疾病予防、重症化予防に努める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	006900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	母子栄養改善事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	食育基本法 母子保健法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	母子栄養改善事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児期から思春期までの子及びその保護者
意図 (どのような状態 にするために)	生涯健康でありつづける為に必要な知識や技術を習得し、乳幼児期から健康的な食生活を身につけ、生活習慣病予防につなげる。
手段 (どうするのか)	講話及び調理実習、参加型体験学習

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	食育教室の開催	食育教室の開催	食育教室の開催	食育教室の開催	食育教室の開催
年度別実績	食育教室の開催 7.5回	食育教室の開催 6.7回	食育教室の開催 6.4回	食育教室の開催 5.4回	食育教室の開催 2.4回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,753	3,954	3,773	3,762	3,572	
	直接経費 A	865	1,026	876	886	744	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	77	111	400	308
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	865	949	765	486	436	
人件費 B	2,888	2,928	2,897	2,876	2,828		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	食育教室参加者数	人	目標	1750
			実績	1765	1429	1163	913	309
活動指標	(指標の説明) 食育教室の参加者人数							
	2		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3		目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】食育推進係 0857-30-8582</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P80(健022)</p> <p>【事業の概要】 乳幼児期の食のあり方は、健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より乳児期を対象に実施している「離乳食講習会」に加え、平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。 また、平成27年度に、栄養士による離乳食の調理状況を収録したDVDを作成し、離乳食作りが初めての保護者や、就労等により講習会の受講が困難な方へ貸出をしている。</p> <p>【事業の成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、調理を中心とした親子で五感を使って楽しむことや、伝統的な食文化を体験する機会を設けることはできなかったが、フードモデル等の視覚媒体を用いて、健康的で規則正しい食習慣を身につける重要性についての周知を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>875,621円</td> <td>885,972円</td> <td>744,517円</td> </tr> <tr> <td>離乳食講習会</td> <td>42回</td> <td>42回</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>食育教室</td> <td>64回</td> <td>54回</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取り組み】 生涯の健康維持や、健康的で規則正しい食習慣を定着させるためには、繰り返し体験する機会を持つことが重要である。引き続き対象者に合わせた支援をしていく必要があると考える。</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	決算額	875,621円	885,972円	744,517円	離乳食講習会	42回	42回	38回	食育教室	64回	54回	24回
		平成30年度	令和元年度	令和2年度													
決算額	875,621円	885,972円	744,517円														
離乳食講習会	42回	42回	38回														
食育教室	64回	54回	24回														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	食育教室参加者数	101%	82%	66%	63%	31%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業の中止や内容の再検討が必要となったため。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、食育教室では調理体験の場を設けることが困難と判断し、講話を中心とした内容で実施したが、集客数の制限や中止となった事業もあり、サークル等の地域での集まりも少なかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>生涯にわたり健全な心身と豊かな人間性を育むためには、心身の機能発達が著しい乳幼児期から食に関する知識の習得や体験を繰り返し行うことで獲得していくことが重要であるため、参加者の年齢層に合わせながら継続して取組める内容を見直し、改善を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	健康増進法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費		予算事業コード	01-04-01-02-05-09	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	原則として、鳥取市に居住地を有する40歳から64歳までの者。
意図 (どのような状態にするために)	がんや糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするか)	がんや生活習慣病についての正しい知識の普及啓発及びがん検診や健康診査の受診につながる意識啓発。 健診結果に基づく相談体制、保健指導の充実。 糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化予防のため重点的な取り組みを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		健康教育の実施 健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 訪問指導の実施	健康教育の実施 健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 訪問指導の実施	健康教育の実施 健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 訪問指導の実施	健康教育の実施 健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 訪問指導の実施	健康教育の実施 健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 訪問指導の実施
事業費	年度別実績	健康教育の実施回数:260件 健康相談件数(延べ):5051件 訪問指導件数(延べ):463件	健康教育の実施回数:203件 健康相談件数(延べ):2712件 訪問指導件数(延べ):428件	健康教育の実施回数:200件 健康相談件数(延べ):1853件 訪問指導件数(延べ):290件	健康教育の実施回数:271件 健康相談件数(延べ):3740件 訪問指導件数(延べ):649件	健康教育の実施回数:271件 健康相談件数(延べ):1279件 訪問指導件数(延べ):442件
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	34,349	34,806	34,682	34,477	36,701
	直接経費 A	8,692	8,885	8,861	8,861	10,418
直接経費の財源内訳	国・県	665	794	965	1,215	490
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,027	8,091	7,896	7,646	9,928
	人件費 B	25,657	25,921	25,821	25,616	26,283
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	嘱託職員	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	生活習慣病予防訪問指導延件数	人	目標	800
	(指標の説明)		実績	463	428	290	649	442
2	健康教育実施回数	回	目標	320	320	320	320	320
	(指標の説明)		実績	260	203	200	290	271
3	健康相談件数(延べ)	件	目標	2500	2500	2500	2500	2500
	(指標の説明)		実績	5051	2712	1853	3740	1279

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】健康づくり係 0857-30-8581
	【10次総の施策体系】1301
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P79(健020)
	【事業の概要】 糖尿病等の生活習慣病は自覚症状がなく進行し、現在の我が国における死亡や要介護状態となるなどの主な原因の一つになっている。本市においても同様であり、その対策が急務である。第3期特定健康診査等実施計画に基づき、特定保健指導対象以外の人の保健指導についても、より適切かつ効果的に保健指導を実施する。
	【事業の成果】 健康に関する知識を普及・啓発し、住民の健康意識を高め、個別相談により健康への不安や健康づくりへの助言を行った。また、各専門職による家庭訪問等により個々の生活背景に応じた支援を行い、健康不安の解消や生活習慣改善の支援につなげた。

	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導
平成30年度	8,861,329円	200回	90回	290人
令和元年度	8,861,253円	297回	265回	649人
令和2年度	10,418,154円	271回	167回	442人

【今後の取り組み】
特定健康診査の結果で、生活習慣病の改善が必要な者を対象に保健指導を実施する。また、地域において、生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成することが必要である。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生活習慣病予防訪問指導延件数	58%	54%	36%	81%	55%
	2	健康教育実施回数	81%	63%	63%	91%	85%
	3	健康相談件数(延べ)	202%	108%	74%	150%	51%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルスの影響により、活動が制限されたため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 新型コロナウイルスの蔓延により事業が制限されるなかで、感染予防に注意しながら、継続して地域や各種団体に向けた健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病及び要介護状態になることを予防し、健康づくりを支援する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	007101	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保健所整備事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健総務課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	保健所整備事業費		予算事業コード	01-04-01-01-31-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	保健所施設を駅南庁舎に整備する。
意図 (どのような状態 にするために)	現在の駅南庁舎に保健所、保健センター、子育て支援機能を配置し、「健康づくりと子育て支援の総合拠点」とする。
手段 (どうするのか)	令和2年春の開設を目標に、計画的に事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 鳥取市保健所等(駅南庁舎)整備基礎調査	平成29年度 平成30年度実施設計業務委託議決の決定	平成30年度 駅南庁舎整備改修実施設計	平成31年度 駅南庁舎整備改修実施設計 駅南庁舎整備改修工事	令和2年度 駅南庁舎整備改修工事 駅南庁舎オープン	
	年度別実績	鳥取市保健所等(駅南庁舎)整備基礎調査	平成30年度実施設計業務委託議決の決定	駅南庁舎整備改修実施設計を開始(設計完了は平成31年度)	駅南庁舎整備改修実施設計の完成 駅南庁舎整備改修工事(建築、機械、電気、空調)を開始(工事完了は令和2年度)	駅南庁舎整備改修工事終了 駅南庁舎全面オープン(R2.5月)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,019	143,888	338,802	
	直接経費 A	0	0	1,397	129,508	324,660	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	114,241	324,660
一般財源	0	0	1,397	15,267	0		
人件費 B	0	0	3,622	14,380	14,142		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		(KPI) 駅南庁舎の「健康づくりと子育て支援の総合拠点」として整備	件	目標	0	0	0	0	1	
			実績	0	0	0	0	1		
			(指標の説明)							
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
		(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-22-5163</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P72(健006)</p> <p>【事業の概要】 保健所と保健センター、子育て支援部門の窓口を集約して連携強化を図り、総合的な保健衛生サービスの提供、子育て支援を行うため、駅南庁舎を「健康づくりと子育て支援の総合拠点」とする施設整備を行った。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 駅南庁舎改修工事実施設計業務(～令和元年度) 令和元年度 駅南庁舎改修工事 令和2年度 駅南庁舎改修工事完了・保健所等移転</p> <p>【今後の課題・方向性】 「健康づくりと子育て支援の総合拠点」の整備により、保健医療、生活衛生関連業務と、母子保健、成人保健などの業務を一体的に行うとともに、妊娠、出産、子育て、教育相談などの関連業務の連携をさらに強化していく。さらに、新型コロナウイルスなど感染症の拡大防止対策とともに、医療提供体制の確保についての調整機能を発揮することが求められている。</p> <p>その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 駅南庁舎の「健康づくりと子育て支援の総合拠点」として整備					100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>駅南庁舎の「健康づくりと子育て支援の総合拠点」の整備を完了。保健医療、生活衛生関連業務と、母子保健、成人保健などの業務を一体的に行うとともに、妊娠、出産、子育て、教育相談などの関連業務の連携を図り、市民サービスの向上につなげる。また、感染症拡大防止対策を行い、地域の健康危機管理拠点としての役割を果たしていく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康診査事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	健康増進法、がん対策基本法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	健康診査費		予算事業コード	01-04-01-02-05-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各種健診の対象となる市民
意図 (どのような状態にするために)	健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識し、健康の保持増進、疾病の早期発見のために必要な健診を受けるため
手段 (どうするのか)	健康づくりに関する啓発に努めるとともに、市民が受診しやすい健診受診体制の整備及び健診等に関する相談体制の充実を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 未受診者へのコールリコール 休日検診の拡充	特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 未受診者へのコールリコール 休日検診の拡充	特定年齢へ全がん無料クーポンを配布実施 30代節目年齢女性にHPV・子宮頸がん検診を継続実施 未受診者への受診勧奨再通知 休日検診の実施 市内企業と連携して店舗での検診実施	特定年齢へ全がん無料クーポンを配布実施 30代節目年齢女性にHPV・子宮頸がん検診を継続実施 未受診者への受診勧奨再通知 休日検診の実施 市内企業と連携して店舗での検診実施	特定年齢へ全がん無料クーポンを配布実施 30代節目年齢女性にHPV・子宮頸がん検診を継続実施 未受診者への受診勧奨再通知 休日検診の実施 市内企業と連携して店舗での検診実施
年度別実績						
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	448,639	458,537	459,392	462,555	439,110
	直接経費 A	422,982	432,616	433,571	436,939	417,897
	国・県	12,820	12,834	13,501	15,023	12,251
	地方債	0	0	0	0	0
その他	43,587	48,884	47,499	48,895	49,190	
一般財源	366,575	370,898	372,571	373,021	356,456	
人件費 B	25,657	25,921	25,821	25,616	21,213	
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	嘱託職員	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40~69歳)	%	目標	50
			実績	40.5	39.3	37.3	36.5	31.4
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)							
2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20~69歳、乳:40~69歳)	%	目標	50	50	50	50	50
			実績	57	59.7	59.2	59.2	56.2
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)							
3	がん検診精密検査受診率	%	目標	90	90.5	91	91.5	92
			実績	89.4	90.2	89.8	89.7	83.8
	(指標の説明) 昨年度のがん検診において精密検査の対象となり、その後検査を受けた人の割合							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320 【10次総の施策体系】1301 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P79(健019)</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づき各種健康診査を実施し、健康意識の高揚、生活習慣の改善・疾病の早期発見・早期治療を図る。</p> <p>【事業の成果】 実施したがん検診及び受診率、健康診査等受診者数 受診率は国の基準(69歳以下の受診率、子宮・乳は2年に1回の受診率)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>36.5%</td> <td>35.9%</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>36.6%</td> <td>35.5%</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>39.0%</td> <td>38.0%</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>60.7%</td> <td>61.2%</td> <td>59.8%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>57.7%</td> <td>57.2%</td> <td>52.6%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者健康診査</td> <td>6,199人</td> <td>5,976人</td> <td>5,847人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検査</td> <td>1,797人</td> <td>1,594人</td> <td>1,328人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取り組み】 胃がん・肺がん・大腸がん検診について、50～60歳代の受診者数が減少傾向にあり、受診率に大きな影響があると考え。がん死亡率は長年本市の死亡原因の一位であることから、早世予防や早期発見のため、引き続き対策を強化していく必要がある。</p> <p>その他財源の負担金は、後期高齢者健康診査負担金 その他財源の諸収入は、各種健診一部自己負担金</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	胃がん	36.5%	35.9%	30.8%	肺がん	36.6%	35.5%	30.9%	大腸がん	39.0%	38.0%	32.6%	子宮がん	60.7%	61.2%	59.8%	乳がん	57.7%	57.2%	52.6%		平成30年度	令和元年度	令和2年度	高齢者健康診査	6,199人	5,976人	5,847人	肝炎ウイルス検査	1,797人	1,594人	1,328人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
胃がん	36.5%	35.9%	30.8%																																		
肺がん	36.6%	35.5%	30.9%																																		
大腸がん	39.0%	38.0%	32.6%																																		
子宮がん	60.7%	61.2%	59.8%																																		
乳がん	57.7%	57.2%	52.6%																																		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
高齢者健康診査	6,199人	5,976人	5,847人																																		
肝炎ウイルス検査	1,797人	1,594人	1,328人																																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40～69歳)	81%	79%	75%	73%	63%
	2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20～69歳、乳:40～69歳)	114%	119%	118%	118%	112%
	3	がん検診精密検査受診率	99%	100%	99%	98%	91%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	国のがん対策基本計画において、がん検診受診率50%を目標値としており、本市も同様に目指している。おおむね達成できたものもあるが、新型コロナウイルス感染症による受診控えも考えられ、特に胃・肺・大腸がんの受診率は減少割合が大きかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	がんは長年にわたり本市の死亡原因の第1位となっており、死亡率を下げることは喫緊の課題である。このため、今後もがん検診及び精密検査受診率の向上に努めていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	007300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	A類疾病予防接種事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	予防接種法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	A類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-07	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児、学童、生徒等
意図 (どのような状態にするために)	疾病予防を図る。
手段 (どうするのか)	各種予防接種を医療機関における個別接種で実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		BCG ポリオ 3種混合 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 3種混合 風しん第5期
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		BCG ポリオ 3種混合 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 実施件数は事業概要 欄参照	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 実施件数は事業概要 欄参照	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 実施件数は事業概要 欄参照	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 風しん第5期 実施件数は事業概要	BCG ポリオ 2種混合 4種混合 MR1期 MR2期 日本脳炎 ヒブワクチン 小児用肺炎球菌 子宮頸がん 水痘 B型肝炎 3種混合 風しん第5期 ロタワクチン 実施件数は事業概要欄参照
事業費の内訳	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	381,572	384,951	385,272	390,735	450,483
	直接経費 A	372,797	376,123	379,478	384,983	444,826
	国・県	0	0	0	7,273	8,453
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	10	15,523
一般財源	372,797	376,123	379,478	377,700	420,850	
人件費 B	8,775	8,828	5,794	5,752	5,657	
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
	嘱託職員	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	%	目標	95
			実績	94	94.3	93.4	94	94.6
	(指標の説明) 流行阻止に必要とされる接種率 95%							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8640</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P82(健026)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種法及び関連法令に基づき集団接種及び医療機関での個別接種によって予防接種を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>平成30年度 決算額 379,478,397円 (BCG1,420件、不活化ポリオ36件、二種混合1,575件、四種混合5,931件、MR1期1,439件、2期1,518件、日本脳炎6,998件、ヒブワクチン5,720件、小児用肺炎ワクチン5,737件、子宮頸がん20件、水痘2,780件、B型肝炎ワクチン4,162件)</p> <p>令和元年度 決算額 384,982,779円 (BCG1,390件、不活化ポリオ8件、二種混合1,438件、四種混合5,359件、MR1期1,386件、2期1,554件、麻しん2期1件、風しん2期1件、日本脳炎6,679件、ヒブワクチン5,248件、小児用肺炎ワクチン5,359件、子宮頸がん85件、水痘2,584件、B型肝炎ワクチン3,902件、風しん抗体検査1,947件、風しん5期574件)</p> <p>令和2年度 決算額 444,825,848円 (BCG1,345件、二種混合1,580件、四種混合5,560件、MR1期1,376件、2期1,535件、日本脳炎6,929件、ヒブワクチン5,545件、小児用肺炎ワクチン5,448件、子宮頸がん183件、水痘2,763件、B型肝炎ワクチン3,990件、風しん抗体検査2,747件、風しん5期832件)</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>予防接種法に基づき、適正に実施する。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 その他財源の諸収入は、風しん第5期接種に係る差額返還金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	99%	99%	98%	99%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>ロタウイルスワクチンの定期接種化を含め、予防接種法に基づき、計画どおり予防接種事業を実施することができた。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>麻疹、風疹予防接種(2期)について、年度目標に近い接種率が達成できた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>予防接種法に基づき鳥取市が行うべき予防接種が円滑に行われるよう、継続して業務を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	B類疾病予防接種事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健医療課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	予防接種法及び予防接種法施行令
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	B類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	インフルエンザ予防接種(65歳以上の方 60~64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人、重度心身障がい者及び重症心身障がい児 就学前乳幼児) 高齢者肺炎球菌感染症予防接種(65歳から100歳までの5歳刻みの節目年齢になる方(経過措置あり))
意図 (どのような状態にするために)	インフルエンザ及び肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大の防止を図る。
手段 (どうするのか)	医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種	インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種	インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種	インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種	インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種	インフルエンザ予防接種 肺炎球菌ワクチン予防接種
年度別実績	インフルエンザ予防接種 ・接種人数 33,560人 肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,426人	インフルエンザ予防接種 ・接種人数 33,471人 肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,623人	インフルエンザ予防接種 ・接種人数 30,946人 肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,533人	インフルエンザ予防接種 ・接種人数 35,306人 肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 1,971人	インフルエンザ予防接種 ・接種人数 40,281人 肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 2,249人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	157,029	161,487	170,157	155,779	177,099	
	直接経費 A	150,254	154,641	163,340	150,027	170,174	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	150,254	154,641	163,340	150,027	170,174		
人件費 B	6,775	6,846	6,817	5,752	6,925		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	嘱託職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	高齢者インフルエンザ接種率	%	目標	70
	(指標の説明)		実績	64	62.7	57.1	64.3	72.6
2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	%	目標	50	50	50	50	50
	(指標の説明)		実績	45.6	44.2	43.5	27.4	29.3
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8640
	【10次総の施策体系】1301
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし
	【事業の概要】 平成13年の予防接種法の改正により定期接種として高齢者に対するインフルエンザ予防接種を開始した。平成26年の予防接種法施行令の改正により定期接種として高齢者肺炎球菌感染症予防接種を開始した。
	【事業の成果】

	接種者数(接種率)		
	高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌	乳幼児インフルエンザ
平成30年度	30,946人(57.2%)	5,533人(43.5%)	6,280人(64.0%)
令和元年度	35,306人(64.3%)	1,971人(27.4%)	6,388人(66.7%)
令和2年度	40,281人(72.6%)	2,249人(29.3%)	6,632人(71.4%)

【今後の課題・方向性】
インフルエンザ、肺炎球菌感染症による重症化を防止するために、継続して実施する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	高齢者インフルエンザ接種率	91%	90%	82%	92%	104%
	2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	91%	88%	87%	55%	59%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	予防接種法に基づき、計画どおり予防接種事業を実施することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	インフルエンザ予防接種の接種率については目標を達成できた。高齢者肺炎球菌予防接種の接種率については令和元年度から二巡目に入ったこともあり、接種率は目標に満たなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	予防接種法に基づき鳥取市が行うべき予防接種が円滑に行われるよう、継続して業務を行う。		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			

事務事業評価シート

事務事業コード	007500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	風しん予防接種費助成事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	風しん予防接種費助成事業費			予算事業コード	01-04-01-04-01-15

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊娠を予定・希望する女性のうち風しん抗体価検査の結果、抗体価が低かった者及び妊婦の夫等
意図 (どのような状態 にするために)	先天性風しん症候群の発生を防ぐ。
手段 (どうするのか)	風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチン接種費用を助成することにより、希望者が接種を受けやすい体制を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。
年度別実績	麻しん風しん混合ワクチン95人、風しん単独ワクチン52人	麻しん風しん混合ワクチン85人、風しん単独ワクチン58人	麻しん風しん混合ワクチン240人、風しん単独ワクチン132人	麻しん風しん混合ワクチン150人、風しん単独ワクチン36人	麻しん風しん混合ワクチン146人、風しん単独ワクチン61人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,971	1,926	3,896	2,127	2,238	
	直接経費 A	1,249	1,194	3,172	1,408	1,531	
	直接経費の財源内訳	国・県	550	524	1,702	704	765
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	699	670	1,470	704	766		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	ワクチン接種を希望し、接種費用助成を受けた者の割合	%	目標	100
			実績	100	100	100	100	100
	(指標の説明) 対象者のうち希望する者にワクチン接種費用を助成し、効果的に先天性風しん症候群の発生を防ぐ。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8640</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 風しんのまん延及び先天性風しん症候群の発生を防ぐため、妊娠を希望する女性のうち風しん抗体価の低い者、その同居者で風しん抗体価の低い者、妊婦の配偶者及び妊婦の同居者等を対象に、風しん予防接種費用の助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 助成人数 372人（MR 240人、風しん単独132人） 令和元年度 助成人数 186人（MR 150人、風しん単独 36人） 令和2年度 助成人数 207人（MR 146人、風しん単独 61人）</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取県における風しん対策特別促進補助金交付事業による補助を受けて事業を実施しており、県の動向を見ながら事業の継続等について検討する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	ワクチン接種を希望し、接種費用助成を受けた者の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者を中心に、計画どおり予防接種費用の助成を行うことができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	妊娠届出の際などにご案内を行い、制度をより多くの方に知っていただくことで、風しん予防を促進することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>先天性風しん症候群の発生を防ぐため、継続して事業を実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域保健医療推進事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会条例
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	地域保健医療推進費		予算事業コード	01-04-01-10-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)
意図 (どのような状態にするために)	鳥取県保健医療計画及び鳥取県地域医療構想の推進
手段 (どうするか)	東部保健医療圏の地域保健医療協議会(全体会・専門部会)及び地域医療構想調整会議を開催し、保健医療計画の策定、保健医療計画及び地域医療構想の推進に関する協議を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催 健康づくり部会の開催 専門的な医療体制に関する検討会の開催	保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催 健康づくり部会の開催 心不全に関する医療介護連携シンポジウムの企画運営	保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催 専門部会の開催	
	年度別実績			3回 1回 3回	3回 1回 1回(他団体、他事業との共催)	3回 7回(医療提供部会3回、健康づくり部会2回、へき地・救急医療部会2回)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,949	7,807	7,669	
	直接経費 A	0	0	706	617	598	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	640	582	597
一般財源	0	0	66	35	1		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催	回	目標	0	0	3	3	3	
				実績	0	0	3	3	3	
	(指標の説明) 協議会開催による協議									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 東部保健医療圏の保健医療に関する課題の整理と解決のための協議を行うことで、圏域の保健医療計画及び地域医療構想の推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 保健医療計画及び地域医療構想の推進について、計画的な協議を実施した。 平成30年度 ・保健医療協議会兼地域医療構想調整会議 3回 ・健康づくり部会 1回 ・専門的な医療体制に関する検討会 3回 令和元年度 ・保健医療協議会兼地域医療構想調整会議 3回 ・健康づくり部会 1回 ・心不全に関する医療介護連携シンポジウム 1回 令和2年度 ・保健医療協議会兼地域医療構想調整会議 3回(うち1回は書面開催) ・医療提供部会 3回(保健医療協議会(全体会議)と合同開催) ・健康づくり部会 2回(うち1回は書面開催) ・へき地・救急医療部会 2回(保健医療協議会と合同開催)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も年間計画に従った計画的な協議を行うことで、地域医療構想の推進を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>鳥取県からの委託事業であり、県担当課である医療政策課と連携して、引き続き必要な協議を行う。新型コロナウイルス感染症の対策を図りながら、書面開催やweb協議など開催方法を工夫し、地域保健医療計画の中間見直し案の策定や地域医療構想の検討を行った。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域医療救急体制強化事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健総務課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	その他
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	地域医療救急体制強化事業費			予算事業コード	01-04-01-10-08-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国立大学法人岡山大学
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取県東部圏域の災害救急に貢献する人材を育成し、広域的な災害が発生した場合の救急医療体制の構築に寄与する。
手段 (どうするのか)	岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄附講座を開設。(平成30年7月)鳥取市立病院を研究施設と定め、実践・研究を行うため、救急科に医師の派遣を受ける。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			岡山大学へ寄附講座を開設	災害医療に関する実践研究	災害医療に関する実践研究	
	年度別実績			岡山大学へ寄附講座を開設	災害医療に関する講演会を開催し岡山大学へ講師を依頼	新型コロナウイルス感染症の影響により、岡山大学から講師を派遣しての講演等の実施ができなかった。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	30,724	30,719	30,707	
	直接経費 A	0	0	30,000	30,000	30,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	30,000	30,000	30,000	
人件費 B	0	0	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	災害医療マネジメント学講座の開設	講座	目標	0	0	1	0	0	
				実績	0	0	1	0	0	
	(指標の説明) 寄附講座の設置を達成済。									
	2	災害医療マネジメント学講座の実践研究	目標	0	0	1	1	1		
			実績	0	0	1	1	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-22-5163</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P73(健007)</p> <p>【事業の概要】 広域的な災害等が発生した場合の救急医療体制を確保するため、岡山大学医学部と連携し、岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄附講座を開設した。また鳥取市立病院を研究施設と定め、実践・研究を行うための医師派遣を受けた。これらにより、鳥取市立病院の診療科目の診療体制の確保・充実に貢献し、さらに研究派遣を通じて医師の地域への定着を図ることにより、鳥取市立病院の医師確保につなげる。 (内容) ・設置期間：平成30年度～令和4年度 ・寄附金額：総額 150,000千円 ・令和元年度～4年度 30,000千円/年度(債務負担行為)</p> <p>【事業の成果】 平成30年度(寄附金額) 30,000千円 令和元年度(寄附金額) 30,000千円 令和2年度(寄附金額) 30,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和4年度まで、鳥取市立病院を研究施設とし、引き続き人材育成及び救急医療体制に関する実践研究を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	災害医療マネジメント学講座の開設			100%		
	2	災害医療マネジメント学講座の実践研究			100%	100%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、岡山大学から講師を派遣して講演等を実施することができなかったため。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県境を越える移動が制限され、岡山大学と交流が持てなかったため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>岡山大学・鳥取市保健所ともに新型コロナウイルス感染症への対応を第一優先としながら、引き続き鳥取市立病院への医師派遣と、本市の救急・災害医療体制に関する研修、訓練を行う。災害救急に貢献する人材育成と、本市災害対応計画への活用が期待できる。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	肝臓がん(肝炎)対策事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健医療課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内に在住する肝炎ウイルス検査を未受診の者で、次のいずれかに該当する方 (1) 39歳以下の受診を希望する方 (2) 40歳以上の受診を希望する者のうち要件に該当する方 肝炎ウイルス陽性者
意図 (どのような状態にするために)	肝炎ウイルス陽性者の早期発見及び早期治療を図る 肝炎ウイルス性疾患の重症化予防を図る
手段 (どうするか)	本市保健所及び委託医療機関において肝炎ウイルス検査を実施 肝炎ウイルス初回精密検査費及び定期検査費用を一部助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績			肝炎ウイルス検査の実施 肝炎ウイルス陽性者 初回精密検査費及び定期検査費用一部助成	肝炎ウイルス検査の実施 肝炎ウイルス陽性者 初回精密検査費及び定期検査費用一部助成
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	7,984	4,425	4,285
	直接経費 A	0	0	741	830	749
	国・県	0	0	395	475	234
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	121	60	433
	一般財源	0	0	225	295	82
人件費 B	0	0	7,243	3,595	3,536	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.50	0.50
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	検査実施機関	区分	目標	0
			実績	0	0	3	3	3
	(指標の説明) 直営、病院、診療所等、健診受託機関の3区分の機関での検査実施体制を確保する。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>肝炎ウイルスの早期発見及び早期治療に資するため、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 肝炎ウイルスの多様な検査体制の整備・受診を促進する。 肝炎ウイルス陽性者に対する初回精密検査及び定期検査費用一部助成を行う。 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健所及び委託機関(42医療機関・2集団検診実施機関)により、受検希望者が肝炎ウイルス検査を受けやすい体制を整え、検査を実施した。 委託機関 平成30年度：41、平成31年度：37、令和2年度：44 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">肝炎ウイルス検査</td> <td>平成30年度</td> <td>平成31年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>・保健所検査</td> <td>B型+C型</td> <td>42件</td> <td>39件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B型のみ</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>・委託機関検査</td> <td>B型+C型</td> <td>195件</td> <td>243件</td> <td>236件</td> </tr> <tr> <td>・陽性者発見数</td> <td>B型</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C型</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> 肝炎ウイルス陽性者に対し、初回精密検査費用助成及び定期検査費用助成を行った。 平成30年度 平成31年度 令和2年度 <table border="1"> <tr> <td>・肝炎ウイルス初回精密検査費用助成</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>・肝炎ウイルス定期検査費用助成</td> <td>11件(実6)</td> <td>7件(実4)</td> <td>3件(実3)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して事業を実施する。 肝炎ウイルス検査の陽性者が精密検査等医療に結び付きやすくするため、受診勧奨を行うとともに、初回精密検査費用助成や定期検査費用助成について更なる情報提供に努める。 	肝炎ウイルス検査		平成30年度	平成31年度	令和2年度	・保健所検査	B型+C型	42件	39件	19件		B型のみ	1件	1件	0件	・委託機関検査	B型+C型	195件	243件	236件	・陽性者発見数	B型	3名	2名	0名		C型	0名	0名	0名	・肝炎ウイルス初回精密検査費用助成	7件	3件	4件	・肝炎ウイルス定期検査費用助成	11件(実6)	7件(実4)	3件(実3)
肝炎ウイルス検査		平成30年度	平成31年度	令和2年度																																			
・保健所検査	B型+C型	42件	39件	19件																																			
	B型のみ	1件	1件	0件																																			
・委託機関検査	B型+C型	195件	243件	236件																																			
・陽性者発見数	B型	3名	2名	0名																																			
	C型	0名	0名	0名																																			
・肝炎ウイルス初回精密検査費用助成	7件	3件	4件																																				
・肝炎ウイルス定期検査費用助成	11件(実6)	7件(実4)	3件(実3)																																				

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	検査実施機関			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初のスケジュールどおり、通年、希望者が検査を受けやすい体制を整え、検査を実施した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>保健所での直営検査に加え、医療機関、集団検診実施機関等と契約を締結することにより、受検希望者が検査を受けやすい体制を整備し、受検機会を確保した。 肝炎ウイルス陽性者に対しても、初回精密検査費用及び定期検査費用助成などを行うことにより、医療に結び付きやすい体制をとっている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	肝炎治療特別促進事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健医療課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	肝臓がん・肝炎対策事業費		予算事業コード	01-04-01-02-22-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)の肝炎治療受給者証所持者
意図 (どのような状態 にするために)	医療費負担の軽減を図る
手段 (どうするか)	受給者証を交付し医療費の一部について公費負担を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
					受給者証の申請受付 及び交付	受給者証の申請受付 及び交付	受給者証の申請受付 及び交付
	年度別実績			受給者証交付件数 ・新規:65件 ・更新:301件	受給者証交付件数 ・新規:50件 ・更新:299件	受給者証交付件数 ・新規:40件 ・更新:283件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,324	4,785	4,352	
	直接経費 A	0	0	1,081	1,190	816	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	24	255
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1,080	1,006	471
	一般財源	0	0	1	160	90	
人件費 B	0	0	7,243	3,595	3,536		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	申請に対する処理件数	件	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	0	366	370	359
2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8532</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>我が国の肝炎(ウイルス性肝炎)の持続感染者は、B型が110万人～140万人、C型が200万人～240万人存在すると推定されており、わが国最大の感染症と言われているが、感染時期が明確ではないことや自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかぬうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっている。</p> <p>また、本県の肝がん死亡率は全国的にも高い状況であるため、その主要原因である肝炎ウイルスの早期発見を行うとともに、B型及びC型肝炎の早期治療を促進し、肝硬変及び肝がんへの進行を防ぐことが重要である。また、肝がん・重度肝硬変患者の医療費負担の軽減を図りつつ、臨床データを収集し治療研究を促進していく必要がある。</p> <p>肝炎ウイルスの早期発見、早期治療に資するため、肝炎ウイルスの多様な検査体制の整備・受診促進、肝炎や肝がん・重度肝硬変の医療費助成を行い、肝炎対策を推進する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付 令和元年度 新規50件、更新299件 令和2年度 新規40件、更新283件 肝がん等入院医療費助成 令和元年度 1件 47,600円 令和2年度 実績なし 肝がん・重度肝硬変の入院医療に対する医療費助成を行う。なお、市保健所は参加証の申請受付、進達、交付、償還払等を担当する。 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>平成30年12月から肝がん・重度肝硬変に対する医療費助成が開始され、また、平成31年2月からは新たに非代償性肝硬変に対する治療が助成対象に追加されるなど、助成制度が拡充されてきており、引き続き、肝炎患者等の進行予防、治療促進を図っていく。</p> <p>* 令和元年度～「肝臓がん(肝炎)対策事業費」と「肝炎治療特別促進事業費」を統合</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	申請に対する処理件数			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	月に一度開催される肝炎治療認定審査会に諮問し、適時、受給者証を発行した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	住民からの申請を受けて、適正に受給者証を発行し、治療促進等を図った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	平成30年12月から肝がん・重度肝硬変に対する医療費助成が開始され、また、平成31年2月からは新たに非代償性肝硬変に対する治療が助成対象に追加されるなど、助成制度が拡充されてきており、引き続き、肝炎患者等の進行予防、治療促進を図っていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	034300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	がん医療提供体制整備事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市がん患者の社会参加応援事業補助金交付要綱
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	がん医療提供体制整備事業費			予算事業コード	01-04-01-02-22-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)在住のがん治療(化学療法又は放射線療法に限る)を受けた方若しくは現在治療中の方、乳がん等の治療(手術療法に限る)を受けた方で、世帯員の市町村民税所得割額(年額)を合計した額が235,000円未満の方であり、これまで本補助金(県事業含む)の交付を受けたことがない
意図 (どのような状態にするために)	がん患者の心理的負担を軽減するとともに、社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図る
手段 (どうするのか)	化学療法・放射線療法による脱毛や手術療法による乳房切除など、がん治療による外見変貌を補完するウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入費用を助成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	
	年度別実績			助成件数60件	助成件数74件	助成件数82件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,343	8,540	8,463	
	直接経費 A	0	0	1,100	1,350	1,392	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1,094	1,349	1,392
一般財源	0	0	6	1	0		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	申請件数	件	目標	0	0	70	75	75	
				実績	0	0	60	74	82	
	(指標の説明) 申請書の提出があった件数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取県のがんの死亡率は全国平均に比べ従来より高く推移していることから、早急かつ効果的ながん死亡率を減少させる取り組みを強化することが緊喫の課題となっている。 この事業は鳥取県がん対策推進県民会議において、がん患者代表の委員やがん拠点病院相談員の委員から、がん患者に対する支援として求められたことを受けて平成28年度から制度化された。</p> <p>抗がん剤による脱毛や乳がん手術による乳房切除など、がん患者の外見上の変貌に対するがん患者の心理的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図るため、ウィッグ(かつら)及び補整下着をなどの購入費用を助成する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市がん患者社会参加応援事業補助金 補助率 1/2 (上限 2万円) <実績> 平成30年度 60件 令和元年度 74件 令和2年度 82件</p> <p>【今後の取り組み】 継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	申請件数			86%	99%	109%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>がん罹患率は増加しており、引き続き心理的負担の軽減と社会参加の促進を図るため、がん患者支援は継続して実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	がん対策推進体制強化事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市がん対策推進会議条例
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の 目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	がん対策推進体制強化事業費			予算事業コード	01-04-01-02-22-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)のがん対策関係者
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特性に応じたがん対策の推進を図る
手段 (どうするのか)	東部圏域がん対策推進会議、担当者連絡会の開催により地域特性に応じたがん対策を協議する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			がん対策推進会議の 開催 担当者連絡会の開催	がん対策推進会議の 開催 担当者連絡会の開催	がん対策推進会議の 開催 担当者連絡会の開催	
	年度別実績			1回 1回	1回 1回	1回 1回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	9,081	9,046	9,189	
	直接経費 A	0	0	1,838	1,856	2,118	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	264	1,856	2,118
	一般財源	0	0	1,574	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動 指標	1	推進会議の開催	回	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	1	1	
	(指標の説明)									
	2	担当者会の開催	回	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	1	1	
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取県のがん死亡率は、全国平均に比べ高く推移していることから早急かつ効果的ながん死亡率を減少させる取り組みを強化することが喫緊の課題となっており、計画的ながん対策を実施している。</p> <p>【事業の成果】 鳥取県東部圏域の関係者が連携し、地域に密着した医療体制、検診体制、受診率向上等、地域の特性に応じたがん対策を協議し、地域レベルでがん対策の推進を図る。</p> <p>東部圏域がん対策推進会議及び東部圏域がん対策担当者連絡会の開催 <実績> <table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">推進会議</td> <td style="text-align: center;">担当者連絡会</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td style="text-align: center;">1回(研修会も開催)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> </table> </p> <p>【今後の取り組み】 継続して実施する。</p>		推進会議	担当者連絡会	平成30年度	1回	1回	令和元年度	1回	1回(研修会も開催)	令和2年度	1回	1回
	推進会議	担当者連絡会											
平成30年度	1回	1回											
令和元年度	1回	1回(研修会も開催)											
令和2年度	1回	1回											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	推進会議の開催			100%	100%	100%
	2	担当者会の開催			100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>鳥取県のがん死亡率は全国平均に比べ高く推移しているため、がん死亡率の減少に向けた取り組みを引き続き東部圏域4町、関係機関と連携して推進していく。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	034500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	結核予防対策事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健医療課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名	結核予防対策事業費		予算事業コード	01-04-01-04-02-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)の結核患者
意図 (どのような状態 にするために)	結核の予防・拡大防止を図り、また結核患者に適正な医療を提供する
手段 (どうするか)	結核医療費の一部を公費負担、服薬支援、検診に係る助成等を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別実績			結核健診費用の一部を助成 医療費の一部を公費負担 接触者健診・管理検診費用を助成	結核健診費用の一部を助成 医療費の一部を公費負担 接触者健診・管理検診費用を助成	結核健診費用の一部を助成 医療費の一部を公費負担 接触者健診・管理検診費用を助成
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	15,358	11,478	14,831
	直接経費 A	0	0	8,115	4,288	7,760
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	3,728	1,540	2,569
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	618	550	493
一般財源	0	0	3,769	2,198	4,698	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		結核治療完遂率	%	目標	0	0	100	100	100	
			実績	0	0	100	100	100		
	(指標の説明) 全結核患者における治療脱落者を除く治療完遂者の割合(ただし治療中の死亡者を除く)。									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 結核の予防・感染拡大防止を図り、また結核患者に適正な医療を提供するため、研修啓発事業、結核の医療費の公費による負担、服薬支援等を実施する。</p> <p>【事業の成果】 結核医療費一部公費負担及び服薬支援を行うことにより、結核患者が適切に治療を継続及び完遂できるよう支援した。 また、私立学校及び民間社会福祉施設等における結核検診に係る補助金の交付を行い、検診による結核の早期発見に努めた。</p> <p>○令和2年度 ・結核予防費補助金 31件 ・医療費公費負担 37条 36件、37条の2 108件 ・接触者健診・管理検診 接触者 75件、管理 37件</p> <p>【今後の課題・方向性】 結核患者の高齢化や多国籍化の傾向が本市でもあり、今後もすべての結核患者が適切な医療を受けることができるよう、結核医療費公費負担や服薬支援等を継続して実施する。 また、結核の早期発見のため、結核検診に係る補助金の交付を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	結核治療完遂率			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	全ての結核患者が適正な医療を受けることができるよう支援した。結核検診に係る補助金を申請者すべてに対し、適切に交付した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>結核患者に対し、医療費一部公費負担や服薬支援を行うことにより、患者が適切な治療を受け、また治療を完遂することができる。また、接触者健診や治療終了後の管理検診の受診管理、結核検診に係る補助金交付などにより、結核の早期発見や感染拡大防止に寄与した。今後も感染症法に基づき適正に事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	感染症対策推進事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 保健医療課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	45%		
予算	予算事業名 感染症対策推進事業費			予算事業コード	01-04-01-04-02-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)の住民
意図 (どのような状態にするために)	感染症発生に備えた危機管理体制の整備及び予防、感染症患者に対する適切な医療の提供整備
手段 (どうするのか)	感染症発生動向調査の実施、感染症診査協議会の開催、感染症患者の医療費公費負担、研修会の開催等

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
					感染症予防に係る事業の実施	感染症予防に係る事業の実施	感染症予防に係る事業の実施(新型コロナウイルス感染症対策を含む)
	年度別実績			・感染症診査協議会の開催 ・東部地区施設内感染症対策研修会 1回 ・感染症発生動向調査の実施	・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・感染症診査協議会の開催 ・東部地区施設内新型コロナウイルス感染症対策医療機関等連絡会議の開催 ・感染症発生動向調査の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	13,276	18,195	13,471	
	直接経費 A	0	0	6,033	11,005	6,400	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,206	2,550	402
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	134	285	265
	一般財源	0	0	4,693	8,170	5,733	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	研修会の開催	回	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	0	1	2	0
2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P53</p> <p>【事業の概要】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を感知し適切な予防活動を実施。特に、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受けた感染拡大防止の対応を実施した。</p> <p>【事業の成果】 次の取組を随時実施し、感染症の発生状況の把握、住民等への予防策等の啓発、感染症発生時の指導・適切な医療提供等を推進した。 ・新型コロナウイルスへの対応(相談対応、検査、医療体制整備) ・感染症診査協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・備品整備、保守点検</p> <p>【今後の課題・方向性】 新型コロナウイルスの流行状況を踏まえ、県、医師会、医療機関等の関係者と連携を図り、今後の第2波・第3波に備えた検査体制、医療体制の整備を進める必要がある。</p> <p>その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	研修会の開催			100%	200%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>診査会や会議、発生動向調査等を定期的、継続的に実施した。研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止した。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>感染症発生動向の把握、発生予防の啓発、発生時の指導、対応等を適宜実施した。また県、医師会、医療機関と連携し、新型コロナウイルス感染症対応の強化に努めた。新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、研修会は行っていない。よって評価は5とした。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新型コロナウイルスの流行状況を踏まえ、県、医師会、医療機関等の関係者と連携を図り、今後の変異株、第5波に備えた検査体制、医療体制の整備を進める必要がある。</p>		